

教 育 委 員 長 ア ピ ー ル

「全国学力・学習状況調査」等の結果を踏まえて

「全国学力・学習状況調査」等の結果から、奈良県の子どもたちの状況として、

- 1 「学力」は比較的よいが、勉強が好きと思っている児童生徒の割合が低い。
- 2 学校のきまりを守らなければならないと思っている児童生徒の割合が全国平均より低い。
- 3 体格は全国平均と同等だが、体力はすべての種目で全国平均を下回っている。
- 4 生活習慣として、朝食摂取率や家の人と一緒に食事を摂る児童生徒の割合が全国平均より低い。また、就寝時刻が遅く、睡眠時間が短いうえ、家の手伝いをしている児童生徒の割合も全国平均より低い。
- 5 地域活動などに参加している児童生徒は少ない。

などのことが明らかになりました。

これらの状況は、昨年度も今年度も同様の傾向を示しており、奈良県教育の大きな今日的課題と考えています。

そこで私は、これらの課題の解決に向けて、「児童・生徒の皆さん」「教職員の皆さん」「保護者の皆さん」「地域の皆さん」に、次のことを強く訴えます。

平成20年10月23日

奈良県教育委員会委員長
濱 上 和 康

児童・生徒の皆さんへ

命を大切に、たくましい心と体をつくりましょう。

自分のたった一つの命を大切にするとともに、たくましい心と体を自分からつくってほしいと思います。たくましい心と体は、友だちと一緒に遊び、運動し、悩み、考え、学ぶことなどで鍛えられていくものなのです。

朝は自分で起きましょう。

自分でできることは自分でするようにしましょう。その一番は、毎朝誰かに起こしてもらったりせずに、朝食が摂れる時刻に自分から起きることです。あなたたちは自分で起きていますか。一日のスタートを大切にしましょう。

集団のなかで、何が大切なのかを考えましょう。

人を思いやり、大切にすることができる人間になってください。あなたたちは、これからもいろいろな人と出会いながら社会という集団の中で生きていきます。すべての人たちの考えや思いが同じであるはずはありません。だからこそ譲り合ったり、一定のルールや規則をつくり守ることで集団として生活することができるのです。あなたたちには、学校や地域での様々な活動を通して、ルールの大切さやひとりでは生きていけないことなど多くのことを学んでほしいのです。

周りに目を向けて、何のために学ぶのかを考えましょう。

あなたたちは、気づいていないかも知れませんが、家族や友だち、先生、地域の人などいろいろな人に愛され支えられて成長してきたのです。これからもそうです。時には、周りから見られていることを意識してみることも必要です。そのとき新たな自分に気づくことがあるはずです。

そして、周りに目を向け、人のために自分は何ができるかを考えてみてください。あなたたちが優しくたくましい大人になって、今、学んでいることや身につけたことを社会で役立ててくれるように願っています。

教職員の皆さんへ

いつの時代も、学校教育に対する保護者や県民の期待は大きいものがあります。皆さんには、子どもたちを自立した社会人に育てるため、日ごろから子どもたちに対して深い愛情を注ぎ、教職という仕事に誇りと使命感をもって、教育活動に取り組んでいただいています。

このことにより、本県の子どもたちには比較的高いレベルの学力が身につき、友だちを大切に作る心情が育っているなどの成果が表れていると認識していますが、奈良県教育のさらなる充実・発展のため、次のことを是非お願いします。

粘り強く指導し、子どもたちにやり抜いた感動を味わわせてください。

学校は、違った環境で育った多様な子どもたちが、一緒に学ぶところです。すべての教育活動において、一人一人の子どもの技能や理解力等の違いを認めながらも、優しく厳しく、粘り強く、指導をやり切ってください。「できないこと」と「やらないこと」「やろうとしないこと」とは違うということを、子どもたちに伝えるとともに、やり抜いた、やり終えたときの感動をすべての子どもたちに味わわせてください。

育てたい子ども像や学ぶことの意義を、絶えず語ってください。

それぞれの学校には、育てたい子ども像が明確にあるはずですが、すべての先生が、その子ども像を絶えず子どもたちに語ってください。そして、学ぶことの意義を伝え、子どもたちが将来に夢や希望を抱き、学習意欲が高まるよう指導してください。

家庭・地域と連携して、子どもたちを育ててください。

一人の子どもを育てるためには、家庭や学校だけではなく、地域の多くの大人が力を合わせる事が大切です。そのためには、先生が積極的に地域に出向き、子どもの教育や学校の課題に理解を求め、地域の方々との連携に努めてください。

なお、学校の管理職の皆様には、こうした様々な取組に対し、力強いリーダーシップを発揮されるとともに、教職員の皆さんをこれまで以上に支えていただくようお願いします。

保護者の皆さんへ

子どもと話す時間を増やしてください。

保護者の皆さんは、子どもにとって最も身近な手本であり、子育ての責任者です。ご家庭の在り方が子どもの成長に大きな影響を与えることをあらためて思い起こし、ご家庭では子どもと正面から向き合って話す時間を増やしてください。

家族の生活リズムを整えてください。

子どもの生活リズムは、ご家族の生活リズムに大きく影響を受けます。ご家庭での毎日の食事はできる限り子どもと一緒に摂りましょう。睡眠を少しでも多く確保しましょう。お忙しいなかにあっても、子どもに規則正しい生活習慣が身につくよう工夫し、ご家族全員で努力していただきたいと思います。

家庭での子どもの役割をつくってください。

最近では家庭や地域での子どもの役割が極端に少なくなっています。子どもに役割を与え、「あなたは役に立っていますよ」とか「果たすべき役割があるんですよ」というメッセージを伝え続けることは、子どもに自信や責任感を育む上で、とても大切なことです。ぜひ、家庭での子どもの役割をつくってください。

社会のルールをもっと子どもたちに教えてください。

普段のなにげない家族の会話が不足するとともに、大人が子どもに人として大切なことを十分に伝えきれていない状況があると思います。子どもの考えや気持ちを尊重しながらも、ものごとの善悪、自分自身を律する、他人を思いやる、社会のルールを守るといった社会生活の基本は、大人がしっかりと示し、教えなければなりません。

子育てに不安を感じたら、周りの人に相談してください。

もし、ご自身が子育てに不安を感じたときは、一人だけで悩まないで、知人、学校、関係機関などに相談してください。これからは、「子どもは、みんなで育てる」という意識をもって、周りの人に大いにかかわってもらいましょう。

地域の皆さんへ

最近、交通事故だけでなく、私たちの身近なところで不審者等により子どもたちが被害者となる事件が多発していることもあり、多くの地域の皆さん方には、普段から子どもたちの安全を守るための様々な取組にご尽力いただいています。

一方、子どもたちは、家庭と学校と塾をただ往き来したり、自分たちだけの遊び場にたむろすることが多くなり、地域における社会的経験に乏しく、異年齢の人と接する機会が非常に少なくなっています。

私たちの世代ではだれもが、子どもころ、近所のおじさん、おばさんに声をかけてもらったこと、叱られたこと、褒められたことをよく覚えています。

かつては、保護者や地域の人に支えられて子ども会活動等が活発に行われ、子どもたちが近所の大人たちと一緒に活動し、楽しい思い出をつくるとともに知らず知らずのうちに地域のこと、地域の約束事などを学んだものです。

地域の子どもたちに声をかけてください。

公共の場での子どもたちの身勝手な振る舞いに対し、見て見ぬふりをするような風潮が、今の地域社会の中にあると感じています。子育ての第一義的責任は家庭にあります。家庭だけで子どもを育てることには限界があると思うのです。子どもたちを育てる環境を地域で見直し、整えていく必要があります。

そのためにまず、子どもたちとあいさつを交わすことから始めてください。普段、道ばたですれちがった時はもちろん、危険なことをしていたり、夜遅くまで遊んでいる子どもたちに目を向け、声をかけられる関係をつくりだしていくことが大事だと思います。

子どもたちの教育に、皆さんの力をお貸しください。

大人は、豊かな経験によって培われた「生きる」知恵をもっています。皆さんの豊かな経験や技術を地域での活動や学校での教育に生かしていただきたいのです。子どもたちの成長をともし見守り、誇れるような私たちの地域をつくっていきましょうではありませんか。